

1. 量の見込みと確保策について

平成29年度

(単位:人)

	区分	子ども・子育て支援計画						平成29年10月現在						平成30年3月末					
		1号	2号	3号			計	1号	2号	3号			計	1号	2号	3号			計
		3-5歳	3-5歳	0歳	1歳	2歳		3-5歳	3-5歳	0歳	1歳	2歳		3-5歳	3-5歳	0歳	1歳	2歳	
①量の見込	子どもの人数	719	609	81	169	192	1,770	719	609	81	169	192	1,770	719	609	81	169	192	1,770
②確保の内容	(幼稚園型)認定子ども園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認可保育所		487	59	107	127	780		487	59	107	127	780		487	59	107	127	780
	(私学助成)幼稚園	719					719	719					719	719					719
	小計	719	487	59	107	127	1,499	719	487	59	107	127	1,499	719	487	59	107	127	1,499
	小規模保育事業(A型)			3	16	18	37			3	16	18	37			3	16	18	37
	家庭的保育事業			0	2	3	5			0	2	3	5			0	2	3	5
	小計	0	0	3	18	21	42	0	0	3	18	21	42	0	0	3	18	21	42
	合計	719	487	62	125	148	1,541	719	487	62	125	148	1,541	719	487	62	125	148	1,541
②-①		0	-122	-19	-44	-44	-229	0	-122	-19	-44	-44	-229	0	-122	-19	-44	-44	-229

事業概要

幼稚園型認定こども園は、学校教育法に位置付けられ県の認可により設置されている幼稚園が、一定の条件を満たし県の認定により保育も併せて行う施設です。

認可保育所は、児童福祉法に位置付けられ県の認可により設置され、0歳から5歳までの保育が必要な児童が入園しています。

幼稚園は、学校教育法に位置付けられ県の認可により設置され、3歳から5歳までの教育が必要な児童が入園しています。返子市内の幼稚園は全て学校法人が運営し、私立学校という位置付けです。文部科学省の補助を受けて運営されている幼稚園を私学助成幼稚園として本計画で位置付けています。

小規模保育事業(A型)は、児童福祉法に位置付けられ市の認可により設置され、0歳から2歳までの保育が必要な児童が入園しています。A型については、保育者全てが保育士の資格を有している場合に認可されます。

今年度の取り組み

年度当初4月に、新たに定員19名の小規模保育事業所1施設(しらかば返子乳児保育園)が新設されました。また、認可外保育施設として運営されていた「あにえるち保育室」を家庭的保育事業所として認可しました。

※返子なないろ保育園の開園により待機児童が解消するものと考えていたところ、待機児童数が増加したことを踏まえ、平成29年度中に子ども・子育て支援事業計画の見直しを行いました。計画変更に伴い、不足数が大幅に増加しています。

2. 利用者支援事業

平成29年度

	子ども・子育て支援計画	平成30年3月
量の見込み(箇所数)	1	1
確保方策 (箇所数)	1	1

事業概要

妊娠中の方や子どものいる保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じ相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を行う事業です。

多様な雇用形態に対応できる幼稚園・保育所、または地域子育て支援事業から、保護者の状況に寄り添ったきめ細かい利用者支援を行うために、市の中心部であり主要な駅からも近い市役所内に、保育所等利用者支援員(非常勤特別職職員)を2名を配置し、詳細かつリアルタイムの状況で相談に応じています。

今年度の取り組み

市役所内の保育課事務室に、保育所等利用者支援員(非常勤特別職職員)を2名を配置し、詳細かつリアルタイムの状況で相談に応じています。

3. 地域子育て支援拠点事業

平成29年度

	子ども・子育て支援計画	平成30年3月
量の見込み(人/年)	24,888	33,186
確保方策 (箇所数)	3か所	3か所

* 子育て支援センター・ほっとスペース利用者の合計です。

事業概要

少子化や核家族化の進行、地域社会の変化など、子どもや子育てをめぐる環境が大きく変化する中で、家庭や地域における子育て

機能の低下や子育て中の親の孤独感や不安感の増大等に対応するため、地域において子育ての親子の交流等を促進する子育て支援拠点の設置を推進することにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援することを目的とします。

乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報提供、助言その他の支援を行う事業です。

ア. 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進 イ. 子育て等に関する相談、援助の実施 ウ. 地域の子育て関連情報の提供
エ. 子育て及び子育て支援に関する講演等の実施(月1回以上)

今年度の見込み

子育て支援センター1か所の他、親子遊びの場(小坪、沼間)2か所へ巡回相談を実施しています。また、類似事業として市内5か所に「ほっとスペース」を開設しています。

平成27年度

子育て支援センター利用実績 来所者4,923組 10,777人 面接3,149件 電話307件
小坪巡回相談 来所者156組 339人 相談件数 198件 沼間巡回相談 来所者460組 1,116人 相談件数 351件
ほっとスペース利用実績 23,587人

平成28年度

子育て支援センター利用実績 来所者4,721組 10,272人 面接3,195件 電話234件
小坪巡回相談 来所者149組336人 相談件数 130件 沼間巡回相談 来所者448組 1,086人 相談件数 345件
ほっとスペース利用実績 23,854人

平成29年度

子育て支援センター利用実績 来所者5,044組 10,879人 面接3,238件 電話76件
小坪巡回相談 来所者128組287人 相談件数 117件 沼間巡回相談 来所者380組 869人 相談件数 313件
ほっとスペース利用実績 21,151人

4. 妊婦に対する健康診査

平成29年度

		子ども・子育て支援計画	平成30年3月
量の見込み(件)		4,676	4,274
確保 方 策	実施場所		
	実施体制		
	検査項目	13	13
	検査時期		

事業概要

妊婦の健康の保持及び増進を図るために、妊婦に対する健康診査として、(1)健康状況の把握(2)検査計測(3)保健指導を実施するとともに、全14回分の妊婦健康診査補助券(1万円補助1回、3千円補助13回)を妊婦へ給付します。また、里帰りで県外の医療機関を利用する場合等で補助券が使用できない時は、出産後健診費用について償還払いとして対象者へ還付を実施しています。

双子以上の多胎児を妊娠した場合は、健診回数が通常より多くなることから、その分の補助内容を充実しています。

今年度の状況

平成27年度から妊婦健康診査補助券に加えて、産後初回の健診費用の補助(1回、3千円分)と妊娠・産後健診補助券に上乗せして使用する追加補助券(1千円×12枚)を交付し、健診費用の更なる充実を図っています。

平成27年度実績 妊婦健康診査補助券4,227件 産後健診 219件 追加補助券5,666件

平成28年度実績 妊婦健康診査補助券4,404件 産後健診 255件 追加補助券4,514件

平成29年度実績 妊婦健康診査補助券4,028件 産後健診 246件 追加補助券4,207件

5. 乳児家庭全戸訪問事業

平成29年度

量の見込み(人)		子ども・子育て支援計画	平成30年3月
確保 方 策		273	346
	実施体制(人)	10	10
	実施機関	1	1

事業概要

妊娠中の妊婦、出産後の母子のケアや出産後4カ月以内にすべての乳児のいる家庭を保健師、助産師が訪問することにより、子育てに関する情報の提供と乳児とその保護者の心身の状況、養育環境の把握を行う他、養育についての相談に応じ、助言その他の援助を行うことを目的としています。

安全な妊娠・出産の確保、安心できる子育ての確保、子育てしやすい環境の確保、個人の健康状態に応じた環境の確保を目的とし、各家庭を保健師、助産師が訪問します。妊娠期から出産後まで一貫した相談体制で生後4カ月以内にすべての乳児のいる家庭を訪問し、適切な指導助言を行います。

今年度の状況

平成27年度実績	対象者381人	訪問 373人	訪問率97.9%
平成28年度実績	対象者386人	訪問 376人	訪問率97.4%
平成29年度実績	対象者347人	訪問346人	訪問率99.7%

6. 養育支援訪問事業

平成29年度

		子ども・子育て支援計画	平成30年3月
確保 方 策	量の見込み(人)	24	24
	実施体制(人)	5	5
	実施機関	1	1
	委託団体等	0	0

事業概要

養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する事業です。

児童福祉法に基づき、乳幼児の養育について支援が必要でありながら、積極的な支援が困難な家庭に対し、保健師、助産師等がその家庭を訪問して養育に関する指導、助言を行います。家事支援についてはヘルパーを派遣し、その他専門的な訪問支援については要保護児童対策ネットワーク会議を中心に支援方法を検討します。

今年度の見込み

平成26年度実績 1家庭20回の訪問を実施しました。

平成27年度実績 なし

平成28年度実績 なし

平成29年度実績 なし

7. 子育て短期支援事業(ショートステイ)

平成29年度

	子ども・子育て支援計画	平成30年3月
量の見込み(人/年)	14	14
確保方策 子育て支援短期支援事業 (ショートステイ)		

事業概要

保護者の疾病等の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設等に入所させ、必要な保護を行う事業です。

現在の状況

本事業についての業務委託が可能な児童養護施設を調査中です。

8. 子育て援助活動支援事業(就学後)

平成29年度

	子ども・子育て支援計画	平成30年3月
量の見込み	1,374	1,374
確保方策	1,491	1,634

事業概要

安心して子育てができるよう、地域の人たちがお互いに助けあっていくことを目指し、乳幼児や小学生を預かって欲しい保護者と、預かる意思のある者の会員制による相互援助活動を推進する事業です。具体的には、保護者に代わり幼稚園や保育所への送り迎えやお迎え後の一時預かり、病児・病後児預かり等多様なニーズへの対応を図ることを目的としています。

今年度の状況

児童の登校前、放課後の援助:790件
放課後児童クラブ関係:576件
その他:268件

9. 一時預かり事業

幼稚園児における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育)

平成29年度

	子ども・子育て支援計画	平成30年3月
量の見込み(1号認定による利用)	1,692	1,692
確保方策 (一時預かり事業)	1,692	1,692

事業概要

子ども・子育て支援新制度に移行した幼稚園が、正規の教育時間(1日4時間が標準)の前後や夏休み期間中などに、在園児を預かり保育します。

今年度の状況

平成29年度に市内で子ども・子育て支援新制度に移行した幼稚園はありませんでした。市は実施する各幼稚園の事業展開を支援します。市内5園中、4園が同様の事業を実施しています。(教育時間終了後の夕方までの預かり)

一時預かり事業(在園児対象型を除く)、子育て援助活動事業(病児・緊急対応強化事業を除く、ファミリー・サポート・センター事業)、子育て短期支援事業(トワイライトステイ)

	子ども・子育て支援計画	平成30年3月
量の見込み	5,614	5,614
確保方策		
一時預かり事業(在園対象型を除く)	4,440	388
子育て援助活動事業 (病児・緊急対応強化事業を除く)	3,675	1,694
子育て短期支援事業(トワイライトステイ)		

一時預かり事業(在園対象型を除く)	事業概要 保育所等を利用していない家庭において日常生活の突発的な事情や、社会参加等により家庭での保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について保育所等で一時的に預かり必要な保護を行う事業です。	今年度の状況 ・民間保育所4園で、延388件
-------------------	---	---------------------------

<p>子育て援助活動事業(病児・緊急対応強化事業を除く)</p>	<p>事業概要 保育所等を利用していない家庭において日常生活の突発的な事情や、社会参加等により家庭での保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について保育所等で一時的に預かり必要な保護を行う事業です。(ファミリーサポートセンター事業)</p>	<p>今年度の状況 乳幼児のファミリーサポートセンター事業を利用者を基に算出しています。0歳:75件、1歳～4歳:850件、4歳から就学前:769件</p>
<p>子育て短期支援事業(トワイライトステイ)</p>	<p>事業概要 トワイライトステイとは、子育て中の保護者の方が、夕方から夜間において、保護者の疾病、冠婚葬祭、子育てからのリフレッシュなどの理由により、一時的に保育が必要となった場合、お子さんをお預かりする事業です。保護者が仕事などの理由により帰宅が夜間となる場合に、夜間一時的にお預かりします。</p>	<p>今年度の状況 本市では、本事業について実施しておりません。</p>

10. 延長保育事業

平成29年度

量の見込み(人)

		子ども・子育て支援計画	平成29年10月現在	平成30年3月
		124	124	124
確保 方 策	実施体制			
	実施箇所数	7	7	7

事業概要

保育認定を受けた子どもについて、通常の利用日及び利用時間以外の日及び時間において、認定子ども園、保育所等において保育を実施する事業です。

今年度の取り組み

全ての認可保育所(7箇所)と小規模保育施設(2箇所)で実施しており、延長保育が必要な児童に、必要な保育を実施しています。

11. 病児保育事業・子育て援助活動事業(病児・緊急対応強化事業)

平成29年度

		子ども・子育て支援計画	平成30年3月
量の見込み(人)		1,952	1,952
確保 方 策	病児保育事業		
	子育て援助活動事業 (病児・緊急対応強化事業)	700	

事業概要

病児について、病院・保育所に等に付設された専用スペース等において看護師等が一時的に保育等を行う事業です。

【病児保育事業】

(病院対応型・病後児対応型) 医療機関、保育所等で専門スペースで一時的に保育士、看護師が行います。

(体調不良児対応型) 保育中の体調不良児を一時的に預かります。(看護師の配置が必須)

(非実施型(訪問型)) 地域の病児・病後児について看護師等が自宅へ訪問。一時的に保育します。

* いずれの形態も本市では実施していません。

【子育て援助活動事業(病児・緊急対応強化事業)】

本市においては、ファミリーサポートセンター事業の病児・病後児預かり事業に該当。

今年度の状況

平成26年度よりファミリーサポートセンター事業で病児・病後児預かりを開始しています。

平成26年度実績: 申込者数(依頼会員)15人 支援会員18人・両方会員 6人計24人

平成27年度実績: 申込者数(依頼会員)14人 支援会員13人・両方会員13人計26人

平成28年度実績: 申込者数(依頼会員)31人 支援会員23人・両方会員14人計37人

平成29年度実績: 申込者数(依頼会員)33人 支援会員 9人・両方会員 8人計17人

12. 放課後児童クラブ事業

平成29年度

	子ども・子育て支援計画	平成29年10月現在	平成30年3月
量の見込み	385	385	385
確保方策・実施箇所数	5	5	5

事業概要

保護者が労働等により昼間家庭にいないなどの場合に、授業を終了した放課後と土曜日、夏休み等の学校休業日に、家庭に代わる生活の場と適切な遊びを提供し生活指導を行うこと等により、児童の健全な育成を図るとともに、仕事と子育ての両立支援を図る事業です。

今年度の状況

市内各小学校区(5箇所)で市が施設を設置し、指定管理者により事業を実施しています。暫定的待機児童対策として夕方から保育を行う事業を実施しましたが、逗子小学校区5名、久木小学校区3名の待機児童が発生しました。

ふれあいスクール(放課後子ども教室)

	子ども・子育て支援計画	平成29年10月現在	平成30年3月
確保方策・実施箇所数	5	5	5

事業概要

放課後子ども教室は、ふれあいスクール事業として主に遊びの場として位置づけ、日曜祝日を除き毎日全校で実施しています。

今年度の状況

平成27年度実績 逗子小学校22,083人 久木小学校16,708人 小坪小学校12,302人 沼間小学校11,725人
池子小学校9,658人 合計72,476人
平成28年度実績 逗子小学校23,291人 久木小学校17,723人 小坪小学校12,678人 沼間小学校12,450人
池子小学校9,614人 合計75,756人
平成29年度実績 逗子小学校26,728人 久木小学校18,284人 小坪小学校12,307人 沼間小学校9,742人
池子小学校8,963人 合計76,024人

平成29年度

13. 実費徴収に係る補足事業を伴う事業

事業概要

保護者の世帯所得の状況等を勘案して、特定教育・保育施設等に対して、保護者が支払うべき日用品、文具等その他の教育・保育に必要な物品の購入に要する費用または行事への参加に要する費用等を助成する事業です。

今年度の取り組み

子ども・子育て支援新制度へ移行した特定教育・保育施設等の利用児童中、生活保護受給世帯等の児童を対象として費用等を助成します。実績は4人でした。

14. 多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業

事業概要

特定教育・保育施設などへの民間事業者の参入の促進に関する調査研究その他多様な事業者の能力を活用した特定教育・保育施設などの設置または運営を促進する事業です。

今年度の取り組み

本市では、実施の予定はありません。